

空と緑、新、呼吸する

'94

11

No. 338

広報

たまがわ



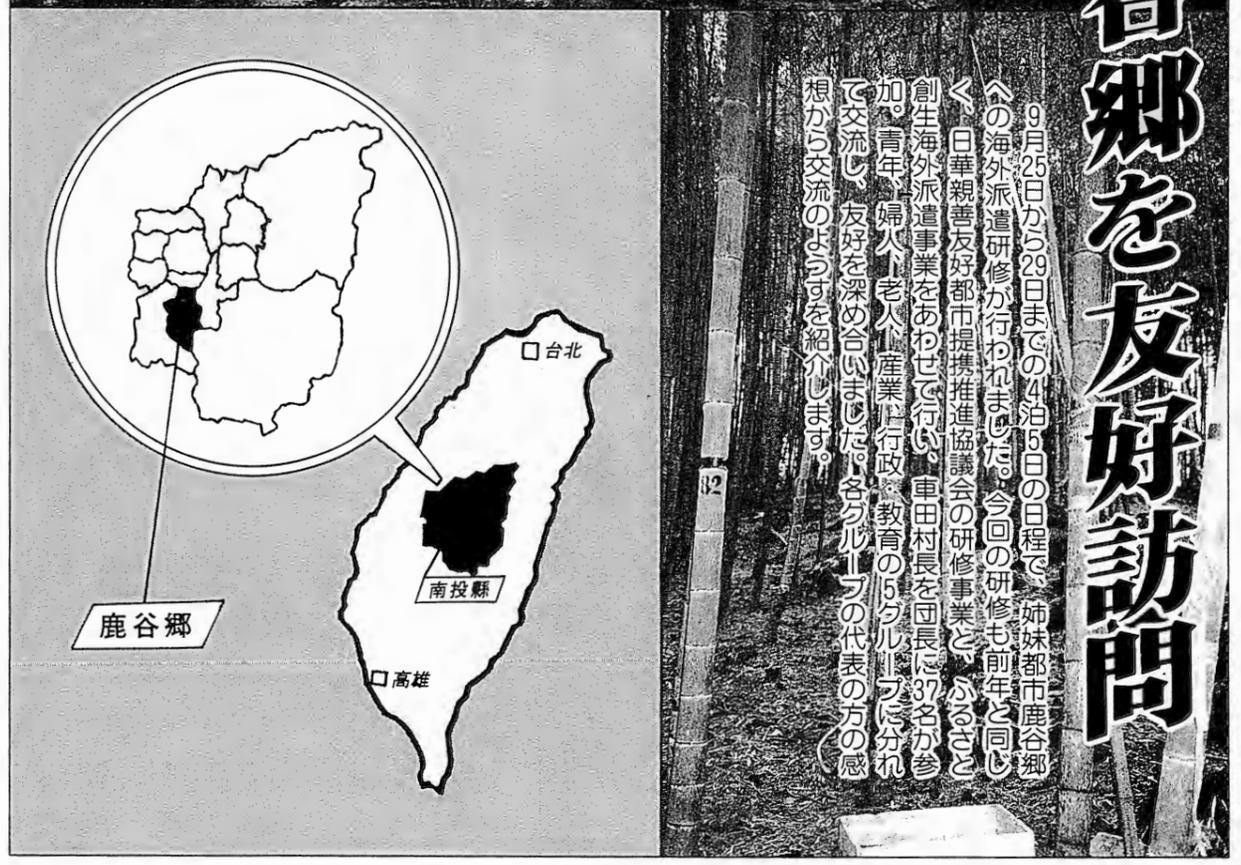
ぼくらの **祭** だ!!
ワッショイ ワッショイ

さわやかな秋晴れの10月24日に玉川
一小的1、2年生といすみ幼稚園児の
祭りが行われました。

子どもたちは、各組ごとに自分たち
で作ったおみこしを元気いっぱい担
ぎ、お祭り気分を楽しんでいました。

めざせ心の交流

中華民国・鹿谷郷を友好訪問



9月25日から29日までの4泊5日の日程で、姉妹都市鹿谷郷への海外派遣研修が行われました。今回の研修も前年と同じく、日華親善友好都市提携推進協議会の研修事業として、創生海外派遣事業を合わせて行い、車田村長を団長に37名が参加。青年、婦人、老人、産業、行政、教育の5グループに分れて交流し、友好を深めました。各グループの代表の方の感想から交流のよさを紹介します。



「言葉は通じなくても心で通じあえた」

婦人交流 関根セキ子さん (小高)



私は初めて「言葉は通じなくても心があれば」ということを実感しました。何となく緊張していた私でしたが、鹿谷郷の婦人会の皆さんから

笑顔で心より温かく歓迎していただき、何のともないもなく身ぶり手ぶりで、楽しい踊りの交流ができました。午後からのカラオケ交流、私たちはその準備をしていなかったのですが、申し訳なく残念に思いました。うれしかったことは、村長さん宅で、おいしいウーロン茶をごちそうになりながら、婦人会の皆さんと話しあえたことです。私たちと同年代の方が多いのに若々しく感じられ、人柄もよく、私も努力しなければと思えました。

「心のこもった交流で楽しく交流」

青年交流 野崎一幸さん (川辺)



私たちは鹿谷郷の青年グループとの交流ということで、各種ゲー

ムやバスケットボールなどのスポーツを行い、楽しく交流してきましたが、現地での交流の相手は予想していた青年団とかのグループではなく、若い先生方たちでした。スポーツのあとの意見交換で、同世代の人たちと趣味や休日の過ごし方などについて話してみたいと思ったのですが、思うように話せなかったのが残念です。お互いに言葉は通じませんが、鹿谷郷の人々が心あたたかく歓迎してくれていると感じられ、楽しい交流ができたと思っています。



平成7年 成人おめでとう

該当者は111人です

平成7年の成人式を来春1月15日(成人の日)に、玉川村就業改善センターで行います。

村内に住所がある該当者は次のとおりです。名前が載っていない方や、村外に住所があつてもふる里で成人式を迎えたい方は、12月14日までに村公民館☎57-3101内線62番にお申し込みください。(名簿は10月3日現在のものです)

【敬称略】

川 辺 (14人) 田子 功・関根和之・井手浩智・熊田浩二・小針恵子・小原淳一・石川安彦・三瓶信之・三瓶利雄・熊田麻樹・野崎百合子・野崎智之・吉村薫・矢部憲宗

蒜 生 (2人) 添田 幹・安斎順一

小 高 (11人) 関根 修・矢吹ゆう・溝井幸人・西川淳良・双里輝彦・内田千恵・車田久美子・溝井秀敏・小針孝志・溝井博幸・添田智広

中 (13人) 鈴木広美・首藤昌幸・添田祐美子・高林美枝・小針由紀・吉田ひろみ・関根正俊・永林清美・坂井英博・岩谷圭子・永林吉紀・小針里美・鈴木正幸

岩 法 寺 (15人) 佐久間倉光・倉録貴志・瀬谷由子・矢内秀人・佐久間勝夫・村越淳子・丹内啓達・溝井孝昌・奥野堅一・草野幸子・大竹聡美・矢内里香・黒田泰吉・川田裕之・石森 誠

竜 崎 (16人) 太田秀司・阪本純子・近藤真理子・河野智哉・白井正江・鈴木由紀・小林喜美・鈴木 修・近藤勝也・鈴木 誠・小林博樹・小林みつ美・小針政太郎・湯澤郁・小林礼子・小林 恵

南 須 釜 (18人) 斉藤恵美・増子広行・青木英二・塩澤幸次・大野浩治・小山田枝美子・小原一美・吉村久美子・塩澤裕勝・小原春春・金子美由紀・大野美加・小原廣士・草野正彦・宗形さとみ・佐久間正広・大木瑞人・飯島美代子

北 須 釜 (8人) 塩澤賢一・佐久間美幸・矢吹清幸・野口雅美・須田優子・草野貞道・草野善広・榊枝マリ子

吉 (6人) 須釜政利・有賀雅彦・大和田寛幸・有賀裕子・須釜勝幸・有賀喜一郎

山 小 屋 (5人) 石森公子・石森正文・石森正敏・真野目謹也・石森 隆

四辻新田 (3名) 塩田 誠・飯田正彦・渡邊さなえ



「高級ウーロン茶の産地を見れてよかった」

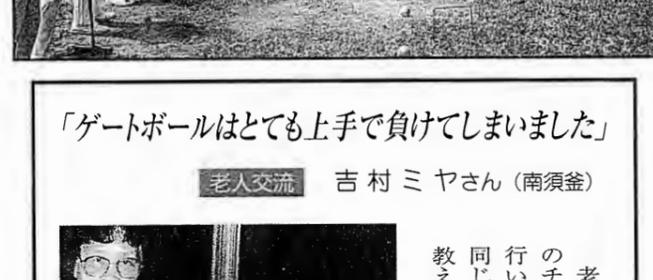
産業交流 岩谷利秋さん(小高)



私は産業グループに属し、鹿谷郷の産物や特産品、農産物の生産技術などを考察することができました。

特に、標高1,600メートル以上という高地で生産される高級ウーロン茶の産地を見ることができたと思います。

鄭孔修氏の案内で、製茶所や農場、そして竹林経営のようすなどを見学でき、大変興味深い研修だったと思います。



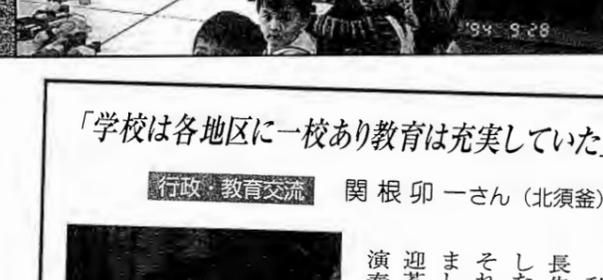
「ゲートボールはとても上手で負けてしまいました」

老人交流 吉村ミヤさん(南須釜)



老人交流は、国民小学校で地元チームとゲートボールの試合を行いました。ルールは日本と全く同じで、日本に来て習っていった教えるそうです。技術といい、作

戦といとても上手で、私たちは1勝2敗と負け越してしまいました。競技の合間に、昔の話や歌などを教えていただき、50年も前に習った教育勅語も間違いなく暗記して、聞かせてくれました。また、老人クラブは5年前につくられ、その時は40名でしたが今は1,200名になったそうです。



「学校は各地区に1校あり教育は充実していた」

行政・教育交流 関根卯一さん(北須釜)



私たちは行政教育交流班は、まず校長先生の案内で託児所を考察しました。託児所は3つの班に分れていて、それぞれ積木や切り絵などをしていました。次に国民小学校を訪問、歓迎茶会のと、和室室内で線竹楽の演奏を聞かせてもらいました。児童

らは毎朝登校すると書道を行い、精神を統して学習に入るそうです。託児所や学校は各村に1校ずつありますが、最近では学童の減少により廃校となっている所もあるそうです。行政機構のなかで、保健衛生は南投縣直轄で郷は関与しないそうです。郷民代表会議(日本の村議会は、2,000人に1人の割合で10人が選出されています。また、13の各村には郷公所の職員が派遣されています。さらに公所内で通訳をおして活発な質疑応答を行い、有意義な研修となりました。

第14回全国消防操法大会

10月13日、神奈川県横浜市戸塚区の日本消防協会中央訓練センターで、全国消防操法大会が開かれました。日本消防協会が主催し、今回で14回目を数える同大会には、全国都道府県の代表47チーム(約200名)の精鋭が一堂に終結。小型ポンプの部に福島県代表として玉川村消防団四辻分団(塩田真一分団長)が出場し惜しくも入賞はなりませんでした。福島県代表として全国大会でも見事な操法を披露しました。

全国3,640の消防団の中から勝ち抜いた47の消防団チームがポンプ車の部(23チーム)小型ポンプの部(24チーム)に出場して開かれた全国大会には、車田村長や塩田村議長をはじめ村消防団幹部やそのOB、各分団長、婦人消防隊や四辻地区の方々が応援に参加、出場する選手らの士気を大いに盛り上げました。

出場47チームによる選手入場行進でも四辻分団選手らは堂々と行進。開会式のあと高知県代表、伊野町消防団員の選手宣誓により競技が開始されました。競技は、二種目同時に進められ四辻分団(小型ポンプの部)は東京代表の次17番目に登場。福島県代表として見事に全国大会



堂々と入場行進する玉川村消防団



激励を受け士気を高める四辻分団選手



見事な放水をみせる四辻分団チーム



全国大会出場を応援していただいた皆さんと共に

「良き仲間と、指導者に恵まれたので、ここまでやってこれたと思う。心からありがとうございます」といいたい



1番員:石井浩和

「やっと終わった、という感じです。この貴重な体験をこれからの人生に生かしたい」



指揮者:塩田忠雄

選手から
「よくここまでやってこれたと思います。お世話になった方々への感謝の気持ちでいっぱいです」



2番員:須田潤一

「長かったなア。暑かったなア。でも、操法やって本当に良かったなアと思います」



補充員:塩田徳男

「いろんな面で勉強になったし、感動した。この気持ち大切にしていきたい」



3番員:石井正光

の晴れ舞台で、鍛え抜いた成果を披露し、他チームからも盛んに拍手や声援が送られていました。この結果、四辻分団チームは惜しくも入賞はなりませんでしたが、全国から集まった精鋭の中でも、その操法技術は高いレベルで、選手皆さんの大健闘に盛大な拍手を送りたいと思います。

消防

夢をありがとう!

玉川村消防団四辻分団全国大会で大健闘

- 四辻分団 団員 石井 浩和
- 須田 潤一
- 石井 正光
- 塩田 徳男

■小隊訓練競技表彰■

11分団を6小隊に編成して行われた訓練競技会の結果は次のとおりです。

- 優勝 第3小隊 (岩法寺・竜崎)
- 準優勝 第5小隊 (北須釜・四辻)
- 優良指揮者 宗形光雄 (第4小隊・南須釜)
- 優良第1分隊長 車田 茂夫 (第2小隊・小高)
- 優良第3分隊長 鈴木 広和 (第3小隊・竜崎)

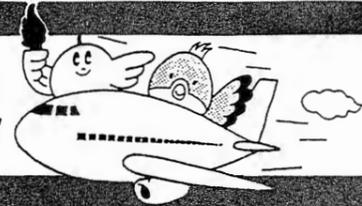


まかせとけ火の守り

玉川村消防団(大竹勝義団長)恒例の秋季検閲が10月30日(日)村民グラウンドで行われ、団員や婦人消防隊員272人と関係者らが参加。団員らは集合及び舞台編成にはじまり、開会行事、表彰、観閲、点検、小隊訓練競技、分列行進、閉会行事、舞台解除と続く検閲の行事をキビキビとした動きで展開していました。各表彰受賞者は次のとおりです。(敬称略)

- 日本消防協会長表彰伝達者
◆副団長 佐久間安直 (功績賞)
- 県知事表彰伝達者
◆北須釜分団班長 草野 直一 (優良青年消防団員賞)
- 県消防協会長表彰伝達者
◆前吉分団分団長 須釜 勝則 (精勤賞)
◆四辻分団分団長 塩田 真一 (精勤賞)
- 第29回福島県消防操法大会優勝旗伝達(小型ポンプ操法の部)
◆四辻分団 団長表彰
◆特別表彰
●小高分団分団長 関根 勝男
●小高分団 団員 西島 信一
● 石井 喜義
● 車田 剛
● 遠藤 昇一
● 車田 信彦
● 車田 守義
●四辻分団分団長 塩田 真一
●四辻分団 団員 塩田 忠雄

玉川村消防団 平成6年度 秋季検閲



空と緑、“新”呼吸する
たまかわ

炬火採火地 玉川村

シリーズ国体⑤

ふくしま国体の
炬火とは?

炬火とは松明(たいまつ)という意味で、オリンピックの聖火にあたります。国体に初めて炬火が登場したのは、昭和24年の第3回福岡大会と伝えられています。炬火がリレーされるようになったのは、第12回静岡大会が最初です。第22回埼玉大会には夏季と秋季の炬火採火をそれぞれ異なった場所で行い、それが、国体開催要綱の改正によって、秋季大会リレーだけが成文化され、それからは秋季大会炬火リレーだけが開催都道府県で実施されることになりました。ふくしま国体の炬火採火地、県内8ヶ所のひとつとして玉川村(福島空港)が選定されています。

炬火とは松明(たいまつ)という意味で、オリンピックの聖火にあたります。国体に初めて炬火が登場したのは、昭和24年の第3回福岡大会と伝えられています。炬火がリレーされるようになったのは、第12回静岡大会が最初です。第22回埼玉大会には夏季と秋季の炬火採火をそれぞれ異なった場所で行い、それが、国体開催要綱の改正によって、秋季大会リレーだけが成文化され、それからは秋季大会炬火リレーだけが開催都道府県で実施されることになりました。ふくしま国体の炬火採火地、県内8ヶ所のひとつとして玉川村(福島空港)が選定されています。

11月15日現在
秋季大会まで
あと333日

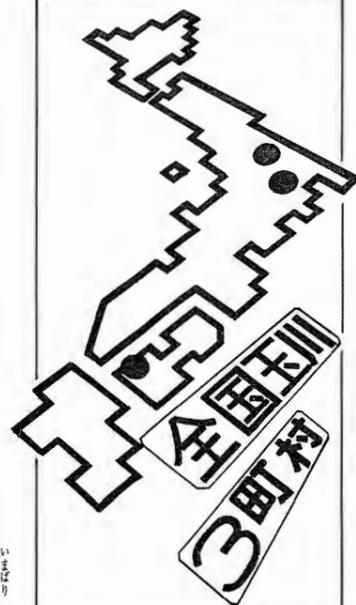


役場からみた町のようす。遠方は今治市方面



村上忠美玉川町長

町の産業は、商業サービス業などの第3次産業が就業者、生産額の面からも中心となっており、昭和30年代は8割を農林業などの第1次産業が占めていました。人口世帯数は9月末現在でそれぞれ、5,966人、1,829世帯となっており、昭和25年ごろをピークに以後総体的には減少傾向が続いているそうです。反面、世帯数は増加しています。



愛媛県玉川町

「自然が美味しい町」愛媛県玉川町は、豊かな森ときれいな水、そして芸術文化・スポーツが人々と見事に調和した町です。

その農林業は豊富な森林資源による木材やしいたげ生産が中心です。玉川町は今はずっかり今治市の経済圏に組み込まれているそうです。町には鈍川温泉があります。昔は、今治藩の湯治場として栄え、ランドンを含んだアルカリ性単純泉の鉱泉は、肌ざわりのよいなめらかな湯で美人湯といわれ、清流が岩肌を洗う鈍川の渓谷沿いに、7、8軒の温泉旅館が集まっています。町では平成2年に源泉のボーリング事業を行い、鉱泉スタ

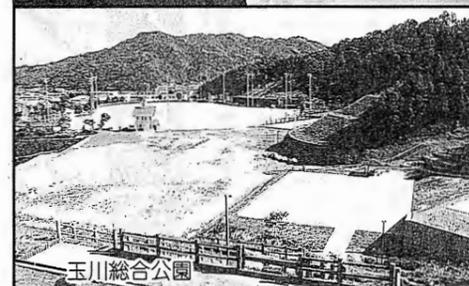
ンド(1基)を設置。豊富な鉱泉水を100円自動販売機で提供しています。役場付近に玉川近代美術館(徳生記念館)があります。小さな美術館ですが、黒田清輝、ピカソ、ミロ、ダリなどの第一級の芸術作品も展示されています。この建物や美術品のすべてが、町出身の名誉町民の徳生忠常氏(実業家)から寄贈されたものです。蒼社川には県営玉川ダム(堤長260m、堤高56m)が造られ、澄んだ水が満々とたたえらる玉川湖は、総貯水量990万tを誇り、今治市の水がめ



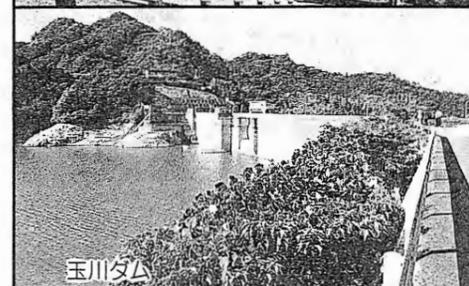
玉川町役場庁舎



玉川近代美術館内部



玉川総合公園



玉川ダム



ふくしま国体
デモンストラ
ションスポー
ツ
インディアカ、
教室を開催



炬火採火地
福島空港でのキヒタン君

インディアカが平成7年福島国体のデモンストラーション・スポーツとして古殿町で開催されます。バレーボールよりおもしろくバドミントンより簡単なこのスポーツ、親子で参加してみませんか。

玉川村民体育館会場		玉川勤労者体育センター会場	
開催期日	平成6年12月5日(月)	開催期日	平成6年2月6日(火)
	平成6年12月12日(月)		平成6年2月13日(火)
	平成6年12月9日(日)		平成6年2月20日(火)
時間	午後7時~午後9時まで	時間	午後7時~午後9時まで
会場	玉川村民体育館	会場	玉川勤労者体育センター
定員	20名	定員	20名

※申し込みはお早めに村公民館まで

保健
衛生

生活改善

自己チェック

これが「がん対策」の三本柱です

わが国における死亡原因のトップはがん。なんと、4人に一人ががんで亡くなっていることになります。あなたは、自分の体に気を配っていますか。働き盛りの年齢に多いがんだからこそ、日ごろの「がん対策」を怠ってほしくないのです。

子宮がん検診の実施

①日時：場所

月日	受付時間	実施場所	該当地区
11月22日(火)	午前8時30分~午前9時	玉川村就業改善センター	川辺・蒜生・小高・中
	午後1時30分~午後2時	玉川村就業改善センター	岩法寺・竜崎
11月24日(木)	午前8時30分~午前9時	須釜公民館	須釜地区

②対象者は、30歳以上の女性です。
③当日受診録に記入し持参してください。

大腸がん検診の実施

大腸がん検診を申し込まれた方は、下記日程により回収しますので、受診録と検体(便)を回収場所に持参してください。

回収月日	回収場所	回収地区
11月28日(月)	玉川村保健センター	川辺・蒜生・中・小高・岩法寺・竜崎
11月29日(火)	須釜支所	須釜地区
11月30日(水)	玉川村保健センター	小高
	須釜支所	11月28、29日未提出分

※回収時間 午前8時30分~11時30分
(時間厳守をお願いします)

▶新たに検診を希望される方や、詳しく知りたい方は、役場保健課までお問い合わせください。

生活改善

- 毎日の食生活に変化をつけて、栄養のバランスのとれた食事を。
- 食べ過ぎを避け、脂肪は控えめに。
- お酒の量はほどほどに。
- 適量のビタミンと繊維質を多く取る。
- 塩辛いものは少なめに。

検診受けて
安心

自己チェック

- 子宮がん
性交時出血、血性のおりもの、月経異常
- 大腸がん
血便、排便異常、便が細くなる、肛門からの出血



全校合唱を行った泉中の学校祭(23日)



体育祭で球技を行う泉中(24日)



演劇「おれは寂しいよ」を上演、須釜中の学校祭(23日) 須釜中1の2バザー「1冊すべて100円」 大繁盛の須釜中PTAバザーコーナー

さわやかな青空のもと、村
内中学校の学校祭が2日間に
わたって開催されました。
今年で12回目を数える泉中
学校祭は「僕らの創造力」
Lively School Life」をテー
マに、初日は校内弁論大会や
校内合唱コンクール。クラス
別の催し物コーナーなど一般
公開され、多くの観覧者が訪
れました。2日目は体育祭が
行われ、部活対抗リレーや

サッカーなどの球技大会に、
生徒らはさわやかな汗を流し
ていました。
一方、須釜中学校祭も今年
で21回を数え、「友情を永遠の
ものに」をテーマに弁論大会、
石川吹奏楽団による演奏会や
演劇などが行われました。2
日目にはソフトボールなどの
球技大会のあと、芋煮会が行
われ生徒らの歓声が青空に響
きわたっていました。

泉中、須釜中が学校祭



ひよりひよりが生き生きと!!

たまかわ トピックス

—みなさんからの話題を
おまちしています—

役場企画調整課
広報係まで



あなたの愛に感謝

献血50回の功労賞



このほど、南須釜の円谷ア
ヤ子さんに、日本赤十字社か
ら献血50回をたたえる「金色
有功章」が贈られました。
車田村長から表彰の伝達を
受けた円谷さんは「自分の健
康チェックのためと思って
続けてきました。今後も続け
ていきたい」と話していまし
た。

23回 石川地方公衆衛生大会



開催地を代表して車田村長があいさつ



めいめいに表彰を受ける公衆衛生功労者



「生きがいと豊かな人生」と題して大橋雄守氏が講演

健康づくり運動を積極的に進めよう

石川地方公衆衛生大会



第23回石川地方公衆衛生大
会が玉川村民体育館で行わ
れ、石川郡内から約280人が参
加しました。
式では、石川地方町村会長
でもある車田村長が「私たち
を取り巻く生活環境は著しく
悪化し、環境問題や精神衛生
さらに老人福祉に関する諸問
題などが深刻化しつつあり、
今後の公衆衛生は、質・量と
もその真意を問われる時代で
あるといえます」とあいさつ。
表彰式では、石川地方の公衆

衛生の発展に尽くした個人や団
体など50名が、各種表彰を受け
られました。
村内の表彰者は次のとおり。
*石川地区公衆衛生協力会長表
彰
●前島 貞子(小高) ●熊田 常
與(川辺) ●岩谷理容室(川辺)
●そうり美容室(中)
*石川地方保健委員会連合会長
表彰
●双里不二枝(小高) ●矢部美枝
子(川辺) ●大竹トミエ(岩法寺)
●北入青年会(北須釜) ●遠館石

組(北須釜) ●三蔵近館石組(北
須釜)
*連名感謝状
●溝井 正治(小高) ●須藤
安和(小高) ●円谷アヤ子(南
須釜)
*福島県赤十字血液センター
所長感謝状
●日本精密加工有限公司(竜
崎) ●トステム福島株式会社
玉川工場(川辺) ●福島富士株
式会社(小高) ●小針 武彦
(中)
【敬称略】

「大阪上空でハイジャック発生！ 福島空港に緊急着陸!!」



福島空港で、ハイジャック(航空機乗とり)事件に備えての総合警備訓練が早朝より行われ、県警本部、須賀川地方広域消防本部、航空会社など17機関で構成する同空港保安委員会から約250人が参加し、本番さながらの緊迫した訓練を繰り返しました。

訓練は全日空ボーイング機を使用し「乗員、乗客123人を乗せた福岡発仙台行A航空110便が、大阪上空でハイジャック信号を発信、福島空港に緊急着陸の見込み」という想定で行われ、航空機の駐機した空港エプロンでは警察官がパイロット交代要員や空港職員に偽装し犯人を逮捕、乗客らを救出する、という場面を雨のなか、空の安全を守るため真剣に取り組み、万一の事態に備えていました。



「犯人逮捕のようす」



「犯人に襲われた重傷者を救出するようす」

ハイジャック事件総合警備訓練

11月12月の健康ごよみ

- 11月
- 15日(火) 成人病予防教室……四辻農研所
午前9時30分～
 - 16日(水) 母親教室……(保) 園
午前9時15分～9時30分
 - 21日(月) 機能訓練……(保) 園
午後1時30分～3時30分
 - 29日(火) 成人病予防教室……山小屋公民館
午前9時30分～
- 12月
- 6日(火) 成人病予防教室……吉公民館
午前9時30分～
 - 7日(水) 機能訓練……(保) 園
午後1時30分～3時30分
 - 13日(火) 成人病予防教室……北須釜生改センター
午前9時30分～
3種混合予防接種……(保) 園
午後1時30分～2時
 - 14日(水) 3種混合予防接種……(保) 園
午後1時～1時15分
 - 16日(金) 1歳6ヶ月児健診……(保) 園
午後1時30分～2時
- (保) : 保健センター
(保) 園 : 須釜公民館
(保) 園 : 受付

伝言板

第11回村民卓球大会

玉川卓球クラブ(塩沢正勝会長)主催の卓球大会を下記により開催します。皆さんの参加をお待ちしています。

参加者募集

- 記
- ▶日 時: 12月11日(日) 午前9時から
 - ▶場 所: 勤労者体育センター(南須釜)
 - ▶種 目: 小学生の部～「シングルス」
中学生から一般の部～「シングルスとダブルス」
 - ▶参加資格: 村内に住んでおられる方または村内企業に勤務する方
 - ▶参加申込: 12月2日(金)までにクラブ会長(☎57-3907)または村公民館まで



10月24日 玉一小・いずみ幼稚園お祭り行事より

くらしの情報

須賀川税務署からのお知らせ 年末調整説明会の開催

年末調整説明会を次の日程で行います。

本年は、年末調整の計算の上で、特別減税も行うことになっており、ここで誤りがあると、後の事務的負担が多くなると思われます。特別減税について誤りなく実施していただくためにも、各事業所の給与担当の方は、ぜひご出席いただくようお知らせします。

- ▶日 時 11月25日(金) 午後1時30分から午後4時まで
- ▶場 所 石川町農業共済組合
- ▶対象者 石川郡内の本店法人、支店法人、官公庁、その他法人、個人事業者(白色)
- ▶詳しくは須賀川税務署(☎75-2194)まで

最低賃金が改正されました

福島県の最低賃金(地域別最賃)が、10月1日より改正されました。定められた金額以下の賃金で労働者を雇用してはならないことになっています。

- ★1日 4,362円
- ★時給 546円

▶この最低賃金は、県内の事業所で雇用されるすべての労働者(パートタイマー、アルバイト等を含む)に適用されます。

▶ご照会、ご相談は、福島労働基準局賃金課(福島市霞町1番46号福島合同庁舎内☎0245-36-4600)まで

ダメ。ゼッタイ!! 10/1~11/30 麻薬・覚せい剤撲滅運動実施中

覚せい剤等の事犯は依然としてあとを断たず、その密売手口も潜在化・巧妙化し、女性・青少年等の一般層にまで広がってきています。このような覚せい剤等の乱用を撲滅するため、福島県と厚生省が主催して、撲滅運動を展開しています。

- 1度でもダメ。ゼッタイに!!
- 身も心もボロボロに
- 愛する自分を大切に

▶覚せい剤等相談窓口～石川保健所☎26-1111まで

今月の納税

村 国民健康保険税 3期分
国民年金 5期分
11月分

(納期限は11月25日(金)です。忘れずに納めましょう)

お誕生おめでとう ございます

(10月届出分)

地区	出生児氏名	保護者名
川 辺	白旗美希	敏 明
小 高	添田愛美	藤 夫
竜 崎	滝川彩加	昌 宏

おくやみ申し上げます

(10月届出分)

地区	死亡者氏名	年齢	世帯主名
中	高林浅廣	73	邦 男
竜 崎	小林ハルヨ	93	幸 一
南須釜	齋藤一夫	71	秀 夫
北須釜	矢吹忠次	83	忠 男
青井沢	遠野百合江	68	誠

年金受給権者が死亡した時は 速やかに届け出しましょう

年金を受給している方が死亡したときは、速やかに届け出しましょう。届け出がされないと、年金が過払いとなり、返納していただくこととなります。また、未支給年金の支払いが遅れることとなりますので注意しましょう。

なお、届け出の際は、死亡された方の年金証書をかみならず添付してください。

水道料金の支払いは 便利な口座振替で

水道料金の口座振替ができる金融機関は次のとおりです。変更もできますので、どうぞご利用ください。

- あぶくま石川農協全店
- 県内各郵便局
- 須賀川信用金庫全店
- 東邦銀行全店

※お申込みは各金融機関窓口で。振替日は奇数月の25日です。詳しくは役場水道課まで

年末調整の仕組みと 手続き

年末調整は、毎月の給料やボーナスから差し引かれた所得税と、一年間の給与総額に対する年税額との差額を精算するもので、サラリーマンにとっては確定申告に代わる大切な手続きです。

- ①扶養親族に異動のあった人
- ②各種保険料の控除を受けようとする人
- ③配偶者特別控除を受けようとする人

などは、勤務先に忘れずに控除申告書を提出してください。

詳しくは、最寄りの税務署や税務相談室にお尋ねください。タックスアンサーのコード番号は[331]です。

寄付ありがとうございます

下記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

- 記
- 中の高林邦男さんから 10万円
 - 竜崎の小林幸一さんから 3万円
 - 南須釜の斎藤秀夫さんから 3万円
 - 北須釜の矢吹忠男さんから 3万円
 - 青井沢の遠野 縣さんから 2万円
 - 小高ソフトボール愛好会から村民体育祭・模擬店の益金として 5,296円
- (村社会福祉協議会)

村のようす (6年10月1日現在)

- 1,741戸(+11)
- 7,676人(+5)
- 3,785人(+6)
- 3,891人(-1)

ゆとり創造月間 ・全国青少年健全育成強調月間

仕事はテキパキ
休みはゆったり
みつめてください
自分の時間

11月

健やか成長
国民すべての
願い

愛をありがとう

10月14日の献血者は次の81名でした。あなたの愛に感謝いたします。

(太字は400ml献血者) 【敬称略】

- 福島双羽電機(19名) 本田 剛 大中茂喜 秋田秀男 須田 陽子 須釜春美 小松賢一 草野ナカヨ 有賀フユ 石森トヨ 小林タツ子 坂崎 昭 中島敏光 塩澤真三 根本志郎 新国 剛男 稲川とく子 浅和勝徳 曳地則泰 添田晴彦 ■駒木根工業(12名) 吉田義頭 熊田里美 真弓英典 森 百合子 大竹いち子 岩谷ミサヲ 鈴木吉二郎 佐藤俊雄 南條玲子 宗像明美 小林和良 高橋弘幸 ■片山コム(10名) 藁萱秀和 矢吹忠幸 塩澤善勝 石森金弘 矢吹富士子 草野とし子 鈴木繁一 近内源吉 荒牧勇二 安部光吉 ■JA須釜支所前(6名) 車田正喜 八木喜孝 草野光徳 境田千ヨ子 石井正光 ■玉川畜産センター(10名) 本野憲一 鈴木義一 渡辺英雄 石森代志子 宗形菊男 石森三男 安部金四郎 須田正行 佐久間 昇 中山 昇 ■役場前(21名) 矢部照子 矢部美枝子 真弓みゆき 遠藤ゆみ 増子広行 車田ヨシ子 塩沢美代子 車田光子 八木玲子 森 博 鈴木一夫 油座広安 遠藤豊子 関根七子 野崎一幸 関根仁一 曲山孝夫 小針周吉 草野 義房 小針達夫 永瀬一雄

次の方々は成分献血者です。
溝井浩一 小針武彦 塩田 敬 小原幸春



思い出のアルバム⑦

「青年団は」

戦後復興の旗手

写真は、昭和28年旧泉村青年団本団幹部の分散会での記念写真で、そのときの団長であった田子國夫氏(68歳、川辺、前列中央)が当時のようすを語ってくれました。

「戦後の復興をめざして、当時の青年団活動は極めて活発だった。演芸会や産業振興大会、北部5ヶ村による陸上競技会、雄弁大会では、関根忠幸君(前教育長。後列右から4人目)が郡でも優勝しました。事業もやり注目されていたから予算は大部分とってもらったが、血気盛んで、分団が対立し、争い事が絶えなかったナ」と國夫さん。

団長宅の前で写っている本団幹部の面々は、田子さんの右が前村長の小針千代之助氏(67歳)で、郡連合青年団会長でした。その右は竜崎の小林昭平氏、さらに右で立っている方は高原雄司氏(小高、その左は矢吹常吉氏(宮法寺)です。眼鏡の人は故、丹内栄一さんで当時の教育委員長だったそうです。「青年団が今と違って相当な力を持っていた」そうで、写真を見てもそういう雰囲気伝わってきます。

たまかわの皆さん
お元気ですか

—東京玉川会員だより—

「心なごむ古里の花」

神奈川県川崎市

石井セツさん(北須釜出身)



右が石井さん。東京・上野の東照宮「寒ぼたん」

野山もすっかり色づき秋の深まりを感じるようになりましたが、玉川村の皆様方お変わりなくお過ごしのことと存じます。今年はずっと変わってお米が大豊作とのことで大変うれしく思っております。

私も田舎をでてから40年以上が過ぎました。古里も帰郷するたびに風景が変わっています。そして、お盆に帰ったときいつも私の心を和ませてくれるものがあります。それは北須釜老人会の皆様がバス通りの道端に、丹精込めて育てた花を咲かせたカーナやマリーゴールドです。暑中、皆様が一生涯懸命手入れをして咲かせた花にむかって、「ありがとうございました」といつも帰るたびにお礼をいいます。

私も今は時間があれば、社会奉仕のつもりで福祉協会の老人看護のボランティア活動に生きがいを感じ、楽しみながら励んでいます。

現在は福島空港ができた山々には、いろいろと思いがあります。小学生のころ、山にオキナ草を取りに行き帰りが遅くなってしまう、当番の風呂たきをやらなくて亡き祖母にしかられたこともありました。昔話を聞き、眠い目をこすりながら手伝った葉たばこのしも、今は楽しい思い出です。

来年もまた東京玉川会で皆様にお会いできるのを楽しみにしています。最後に村の御繁栄と皆様の御健康を心からお祈り申し上げます。